

キャラクター名  
浅間峰 成織(アサマミネ セオリ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	便利屋
オプション	モルフェウス	年齢	17	性別	女
覚醒	渴望	衝動	解放	初期侵食率	35 %
出自	安定した家庭	経験	裏切った/裏切られた	邂逅	昨日の敵は今日の友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	32
肉体	3	0	0			3	行動値	8
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	8
精神	2	1	0	3		6	戦闘移動	13
社会	2	0	0			2	全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	6		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
能力訓練【精神】		ロイス			
		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ リス
		仲間	P	N	
		『ヒーロー』(PU)	P 憧憬	N 劣等感	
		REC:二色憂星(RE)	P 信頼	N 疎外感	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	4	残り財産P:	1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンセ:サラマンダー	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	C値-[LV](下限7)							
アースシェイカー	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	命中時シーン間判定ダイス-[LV]							
災厄の炎	4	4	メジャー	至近	範囲(選択)	対決	-	
効果:	攻撃力+[LV*4]							
砂の加護	2	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	判定ダイス+[LV+1]、1回/ラウンド							
デスマントル	4	3	オート	視界	単体	自動	-	
効果:	ダメージ-[LV*3]、1回/ラウンド							
極圏の覇者	2	5	オート	至近	自身	自動	120	
効果:	判定ダイス+[LV*2]、3回/シナリオ							
軽功	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	地面の性状を問わず移動できる							
無上厨师	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	知っている料理を再現する							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

ヒーローを、正義の味方を志す少女。  
 幼少期に“鬼”と呼ばれた存在に誘拐された際に、幼馴染の二色憂星を守るために力を求め覚醒した。  
 その際に助けられた存在に対し強い憧れを懐き、UGNでの激しい訓練を生き延び、その結果を認められて本部下部組織の4課に任命される。  
 任命されるまで任務等の実戦経験が浅く、栄誉あることと思ひ拝命したが、与えられる任務をこなすうちに次第に疑問を抱くようになる。

——対象は全てが悪人なわけではない。

大多数を守るために少数の犠牲を仕方のないものとする組織の考えに、組織を抜けるという行為を悪と決めつける組織の決定に、一度疑問を抱いてからは苦悩の日々であった。  
 組織を裏切る、UGNを離脱するにあたって、親友であり幼馴染であり、オーヴァードになる以前からそれまで一番頼りにしていた親友である憂星に気持ちを打ち明け、決行の日・待ち合わせ場所まで全て相談した。同僚に殺されないように入念に計画を立てて。

しかしどれだけ待っても待ち合わせ場所に彼は来ず、時間を大幅に過ぎてから同僚を連れて、彼はそこに現れた。  
 裏切られた、彼女はそう割り切り、命からがら逃走に成功する。  
 追手をなんとかが播くことに成功するも深手を負ったために動くこともままならなかった所を藤堂及トワび三色奏良に救われ、UGNに身を向く気にもなれなかった彼女は対抗組織・アトランティスに迎え入れられる。

そうして新たな組織に馴染んできたある日に、路地裏でかつて“ゴースト”と呼ばれた元FHチルドレンのUGNチルドレンと再会する。  
 どうにも他人事と思えなかったこともあり、彼女はかつての敵に手を差し伸べていた。

——命に重さなどない、必要な犠牲と切り捨てられる命など、あってはならない。  
 大多数を助けるのではなく、全てを助ける強さが欲しい。